

高知県の特徴的な植生を知る

高知県の山には人工林も多いですが、何といてもその特徴的な植生は（低地では）、スダジイを中心とした常緑広葉樹でしょう。落葉広葉樹が主体の環境に生活している人たちには馴染みのない環境です。自分が生まれ育った場所の環境が他の地域とどう違うか、ということ意識しながら生活できるようになれるといいですね。

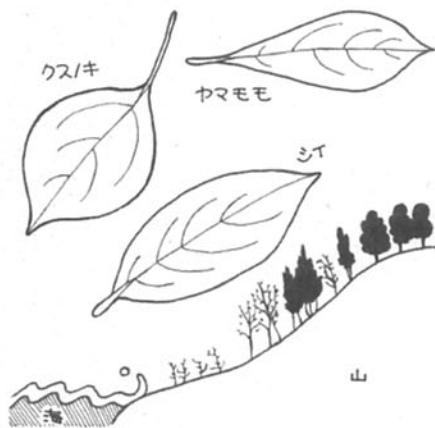


ねらい

高知県の特徴ある植物、植生について、誇りを持ち、自慢できるようになる。

達成目標

- ・高知県の特徴ある植物について例をあげて説明できるようになる。
- ・高知県の特徴的な林の様子について説明できるようになる。



導入

高知県の林の特徴を知っているかどうか尋ねてみる。
(落葉広葉樹、常緑広葉樹、常緑針葉樹のどれが高知県内に多い木だろう)

ふりかえり・わかちあい

自分たちで読みとった特徴にはどんなものがあるか、情報を出し合おう。他の地域の植生の写真があれば、どこがどう違うか、比べてみよう。

本体

森を外側から見て、どういった特徴を持っているか、スケッチしてみよう（その際に、人工林や竹林とスダジイなどの常緑広葉樹の林を見分けられるようにしよう）。常緑広葉樹の森に近づいて、数がたくさんある木を選び、特徴を細かくつかんでスケッチしよう（ヤマモモ、スダジイ、アラカシなど）。

まとめ

今回把握した特徴を意識しながら森や山を見ること、季節を変えて見てみることを促す。

実施のポイント

植物に詳しいスタッフがいたら、植生などの話をしてもらうのもよい。詳しいスタッフがなくても一連の作業はできる。ただ、正しく情報がよみとれているかどうかのチェックができるようにしておきたい。

◆所要時間	60分
◆人数	何人でも (大人数ではグループ分けする)
◆関連教科等	総合的な学習の時間、理科
◆焦点を当てる能力	特徴をつかむ、比較する、 観察する
◆準備するもの	ワークシート、クリップボード、 筆記用具
◆安全のポイント	活動の範囲を明確にする。危険 箇所の指摘をしておく スダジイの林で見られるハゼノ キはかぶれるので注意しておく

評価の視点

森の特徴を把握したかどうか、活動の後に森のようすを意識しているかどうか、特徴ある植物について説明できるくらいになっているかどうか。

発展・応用

高知県内でも、標高の高いところでは、低地と異なった植生が見られる。標高による違い、緯度による違いなどへ、視点を発展させることで、再度高知県特有の森の様子が意識される。また、季節を変えて調べてみよう。

参考文献

「葉で引く四国の樹木観察図鑑」高知新聞社
オリジナル/自然教育研究センター

高知県の特徴的な植生を知る

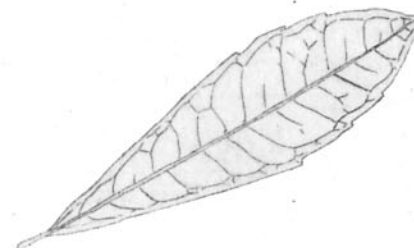
スダジイの林をスケッチしてみましょう。
(外から見た森の様子をかいてみましょう)

葉っぱをスケッチしましょう。

特徴

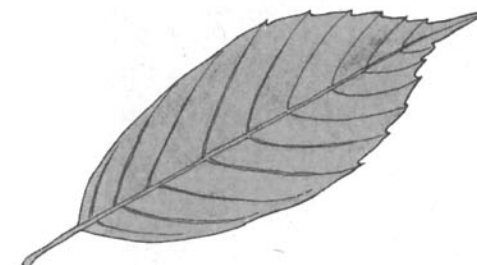
スダジイの林で、下の木をさがしてみよう。

ヤマモモ



葉の長さは6~13cm、幅は1~3.5cmある。光に透かすと、細かい網の目まで見える。暖地の山野に自生し、多数枝分かれしてまると、樹冠をつくる。樹皮は暗褐色。

アラカシ



葉の長さは7~15cm、幅は3~6cm、葉の上の方だけギザギザがあり、葉の表は緑色で裏が灰色。樹皮は暗い灰色。

年 月 日 名前